

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（1 学年用）教科 芸術 科目 書道 I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 1組～6組：今城

)

の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各書体の特徴と用筆・運筆法、書道用語を理解する。	書体の変遷について考察し、書風の特徴を理解する。	古典作品から発展して、自己表現・作品の製作。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 単元 ・書写から書道への移行	・用具・用材の解説 ・用具用材の扱い方		○	○	○	【知識及び技能】 ワーク・プリント 作品の知識や技能を身に付けることが出来ている。 用具・用材の扱い方に慣れる。 基本点画を理解している。	○	○	○	4
	・楷書の学習 ・基本点画	・基本点画 用筆法・運筆法 ・字形の特徴		○		○	【思考力、判断力、表現力等】 ワーク・プリント 作品について表現を工夫することが出来ている。（制作手順） 【学びに向かう力、人間性等】 ワーク・プリント 作品の提出を積極的に取り組み行おうとしている。	○	○	○	6
	・楷書の学習・基本点画古典作品を通して楷書を学ぶ ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序	・各書体の特徴の解説 ・臨書について		○		○		○	○	○	6
	行書の学習 基本点画 ・蘭亭序 ・風信帖	・楷書との比較 ・用筆法・運筆法 ・臨書（形臨・意臨）		○		○		○	○	○	6
2 学 期	行書の学習 基本点画 ・真草千字文 ・曹全碑 ・泰山刻石	・文字の造形を学ぶ ・各書体の基本点画		○		○	【知識及び技能】 ワーク・プリント 作品の知識や技能を身に付けることが出来ている。（筆の扱い方） 【思考力、判断力、表現力等】 ワーク・プリント 作品について表現を工夫することが出来ている。（文字構成）	○	○	○	18
	創作 ・古典を生かした創作	・書く言葉・書体や書風を考えて表現	○	○		○	【学びに向かう力、人間性等】 ワーク・プリント 作品の提出を積極的に取り組み行おうとしている。 文字の成立に関心を持ち、実践していく。	○	○	○	10
3 学 期	仮名の書 成立と種類 ・高野切第三種	・仮名の筆使い ・仮名の字源 ・連綿・変体仮名			○	○	【知識及び技能】 ワーク・プリント 作品の知識や技能を身に付けることが出来ている。（用筆法・運筆法） 【思考力、判断力、表現力等】 ワーク・プリント 作品について表現を工夫することが出来ている。 仮名の字源・歴史的意義を考えている。	○	○	○	12
	漢字仮名交じりの書（漢字と仮名の調和） 紙面構成	・語句・詩文の題材 ・配列・余白・用具の工夫	○			○	【学びに向かう力、人間性等】 ワーク・プリント 作品の提出を積極的に取り組み行おうとしている。	○	○	○	8
											合 計
											70